

# ケン・ラッセル／ソング・オブ・サマー（1968）

SONG OF SUMMER-DELIUS

メディア TVM

ジャンル

製作国 イギリス

色彩 B&W

時間 75分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

## 【解説】

英国の作曲家デリアスの晩年を冷たく静かに描いた、TVディレクター時代のラッセルの秀作。弟子をとらない彼に熱意で奉仕し、その最後の作品の完成につくした青年、エリック・フェンビーの目を通して語られ、脚本もフェンビー自身に依る物である。音楽の純粹さと裏腹にクセの強い老作曲家は、実は永年の放蕩から梅毒に冒されていた。失明し、全身マヒの状態でもそのエゴを捨てようとしめない態度に、フェンビーは戸惑うばかりだった。だがそれも、より美しい音楽への探求心が、なりふり構わぬ姿勢となっているのだと理解する。ラッセル特有の放埒なイメージが、迫りくる死を静かに見つめる客観の風景描写と見事に調和する。これを見ると、ラッセルがごく初期に、頂点まで登りつめてしまった作家である気がしてならない。

## 【クレジット】

監督	ケン・ラッセル	Ken Russell
製作	ケン・ラッセル	Ken Russell
脚本	エリック・フェンビー	Eric Fenby
撮影	ディック・ブッシュ	Dick Bush
出演	マックス・アドリアン	Max Adrian
	クリストファー・ゲイブル	Christopher Gable
	モーリーン・プライアー	Maureen Pryor